

# 刑 法 犯 の 概 況

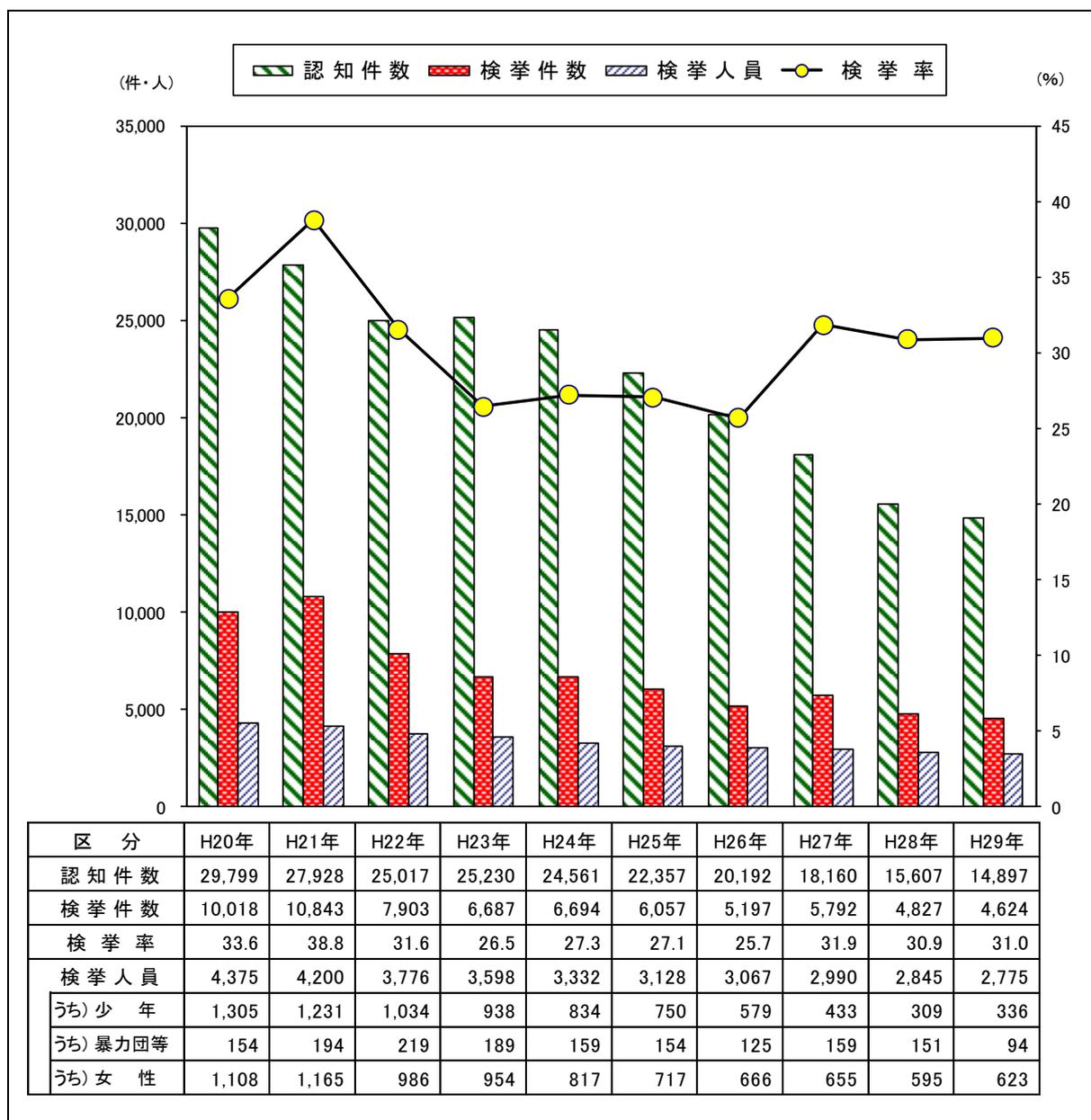
## 1 刑法犯

### ● 刑法犯は平成の最少を更新

平成29年中の岐阜県下の刑法犯は、認知件数が14,897件、検挙件数が4,624件、検挙人員が2,775人、検挙率が31.0%でした。前年と比較すると、認知件数は710件（-4.5%）減少、検挙件数は203件（-4.2%）減少、検挙人員は70人（-2.5%）減少、検挙率は0.1ポイント上昇となりました。

認知件数は平成の最少を更新し、昭和59年（14,887件）と同水準まで減少しました。

図－1 刑法犯 認知・検挙状況 年次推移

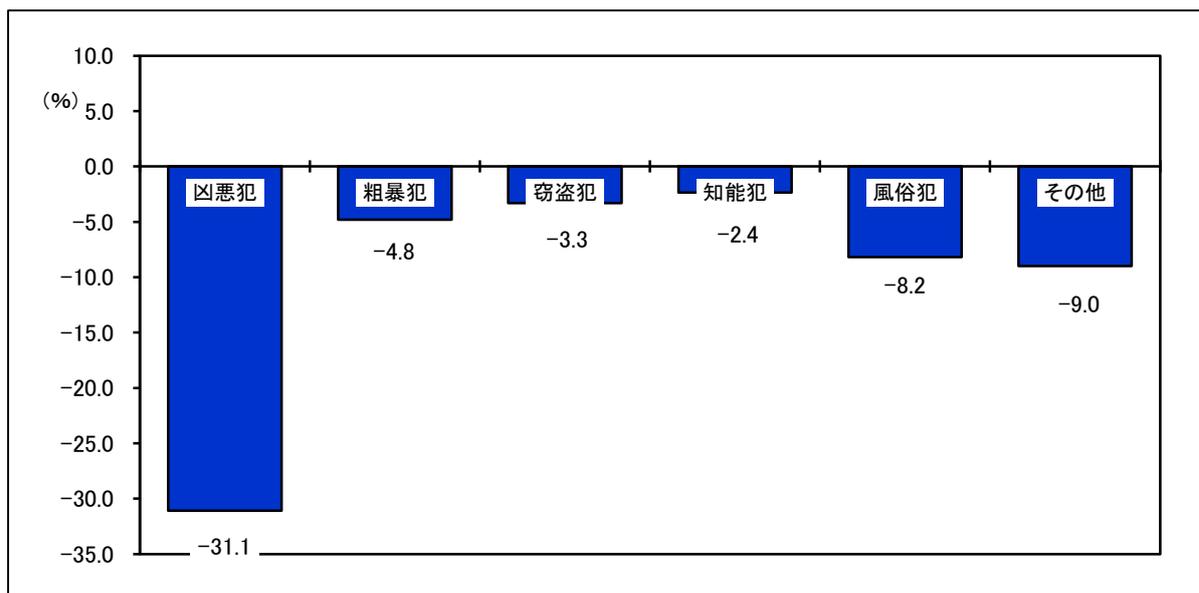


刑法犯の包括罪種別認知件数は、凶悪犯が51件、粗暴犯が870件、窃盗犯が10,607件、知能犯が706件、風俗犯が101件、その他の刑法犯が2,562件でした。前年と比較すると、すべての罪種が減少しており、中でも凶悪犯の減少が目立ちました。

表-1 刑法犯 包括罪種別 認知状況

包括罪種 区分	総数	凶悪犯	粗暴犯	窃盗犯	知能犯	風俗犯	その他の 刑法犯	
平成29年	14,897	51	870	10,607	706	101	2,562	
構成比	100.0	0.3	5.8	71.2	4.7	0.7	17.2	
平成28年	15,607	74	914	10,971	723	110	2,815	
構成比	100.0	0.5	5.9	70.3	4.6	0.7	18.0	
増減	件数	-710	-23	-44	-364	-17	-9	-253
	%	-4.5	-31.1	-4.8	-3.3	-2.4	-8.2	-9.0

図-2 刑法犯 包括罪種別 認知件数 前年対比



※ 包括罪種とは、刑法犯のうち被害法益、犯罪態様等の観点から類似性の強い罪種を包括して6種に分類したものをいいます。

- ・凶悪犯 ————— 殺人、強盗、放火、強制性交等
- ・粗暴犯 ————— 凶器準備集合、暴行、傷害、脅迫、恐喝
- ・窃盗犯 ————— 窃盗
- ・知能犯 ————— 詐欺、横領、偽造、汚職、あっせん利得、背任
- ・風俗犯 ————— 賭博、強制わいせつ、公然わいせつ、わいせつ物
- ・その他の刑法犯 ——— 占有離脱物横領、公務執行妨害、住居侵入、逮捕監禁、略取誘拐等、器物損壊等など上記に掲げるもの以外の罪

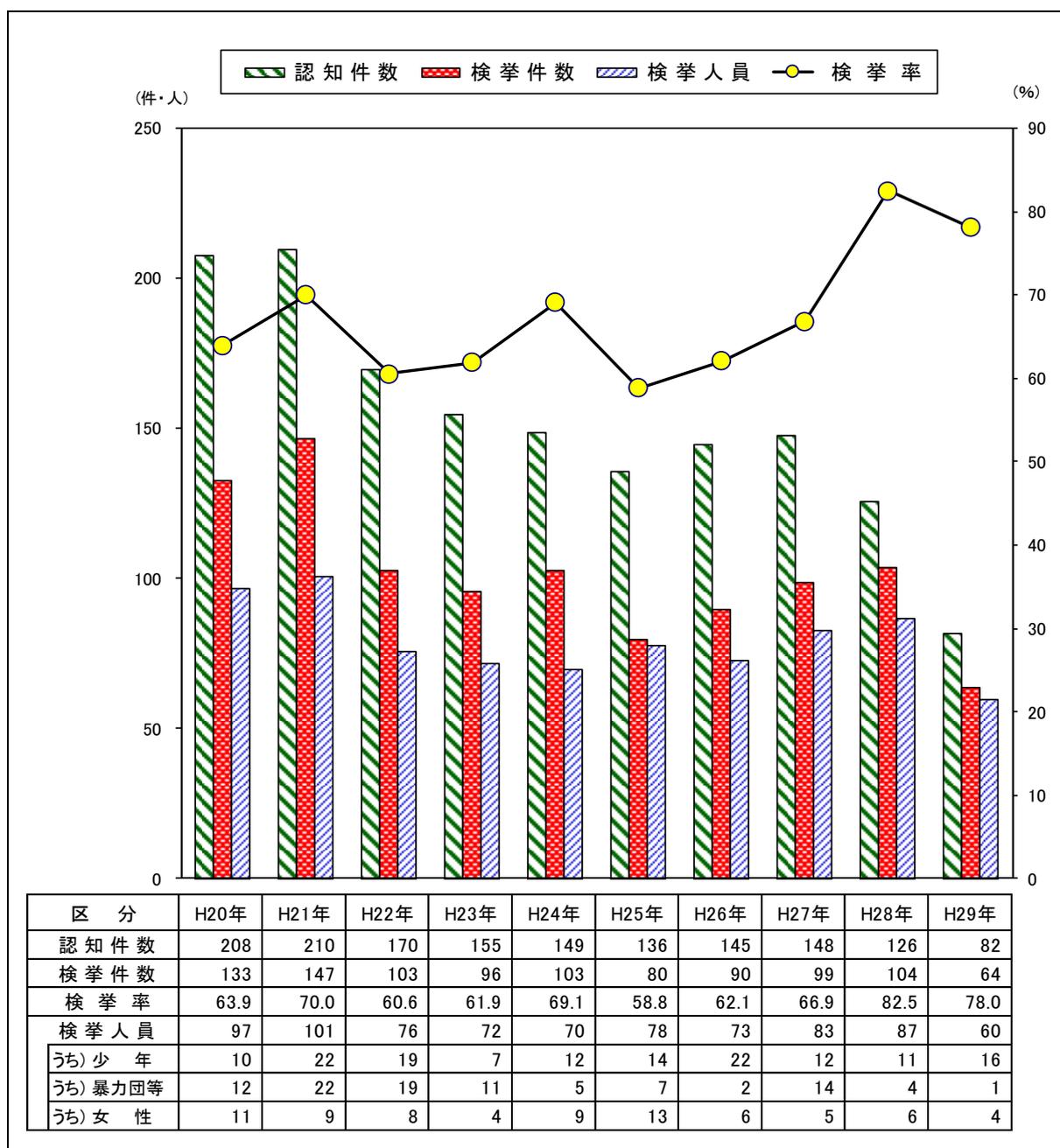
## 2 重要犯罪（殺人、強盗、放火、強制性交等、略取誘拐等、強制わいせつ）

### ● 重要犯罪は2年連続で減少

平成29年中の岐阜県下の重要犯罪は、認知件数が82件、検挙件数が64件、検挙人員が60人、検挙率が78.0%でした。前年と比較すると、認知件数は44件（-34.9%）減少、検挙件数は40件（-38.5%）減少、検挙人員は27人（-31.0%）減少、検挙率は4.5ポイント下降となりました。

認知件数は2年連続で減少し、平成で初めて100件を割りました。

図-3 重要犯罪 認知・検挙状況 年次推移

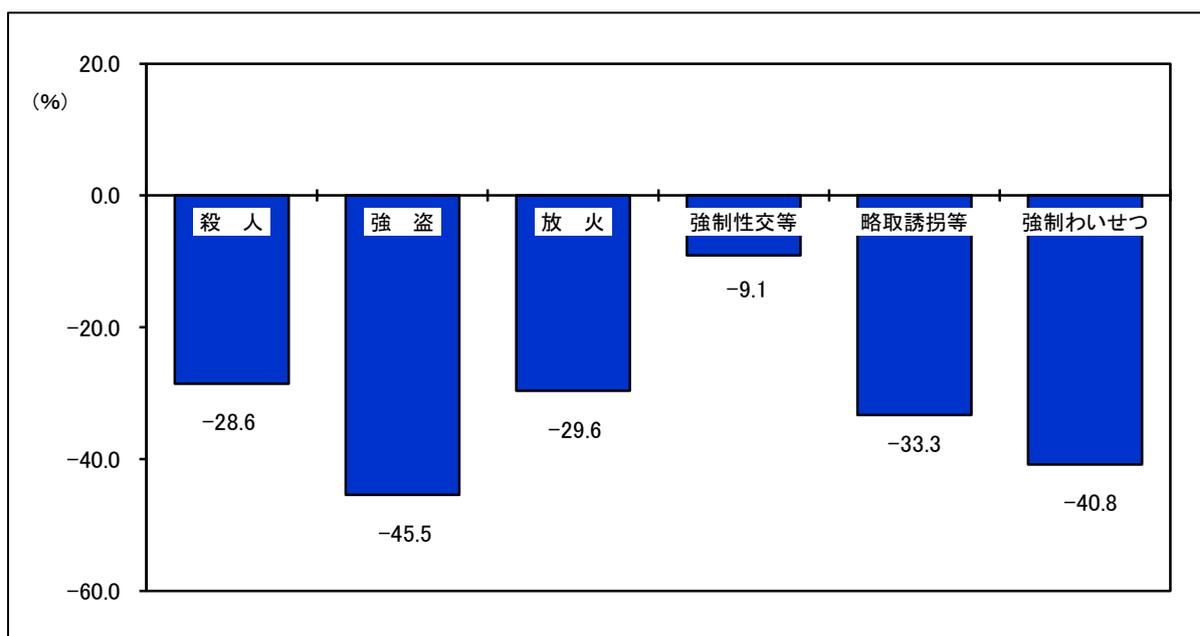


重要犯罪の罪種別認知件数は、殺人が10件、強盗が12件、放火が19件、強制性交等が10件、略取誘拐等が2件、強制わいせつが29件でした。前年と比較すると、すべての罪種が減少しており、中でも強盗と強制わいせつの減少が目立ちました。

表－２ 重要犯罪 罪種別 認知状況

罪種		総数	殺人	強盗	放火	強制性交等	略取誘拐等	強制わいせつ
区分								
	平成29年	82	10	12	19	10	2	29
	平成28年	126	14	22	27	11	3	49
増減	件数	-44	-4	-10	-8	-1	-1	-20
	%	-34.9	-28.6	-45.5	-29.6	-9.1	-33.3	-40.8

図－４ 重要犯罪 罪種別 認知件数 前年対比



※ 重要犯罪とは、刑法犯のうち殺人、強盗、放火、強制性交等、略取誘拐等、強制わいせつの各罪種をいいます。

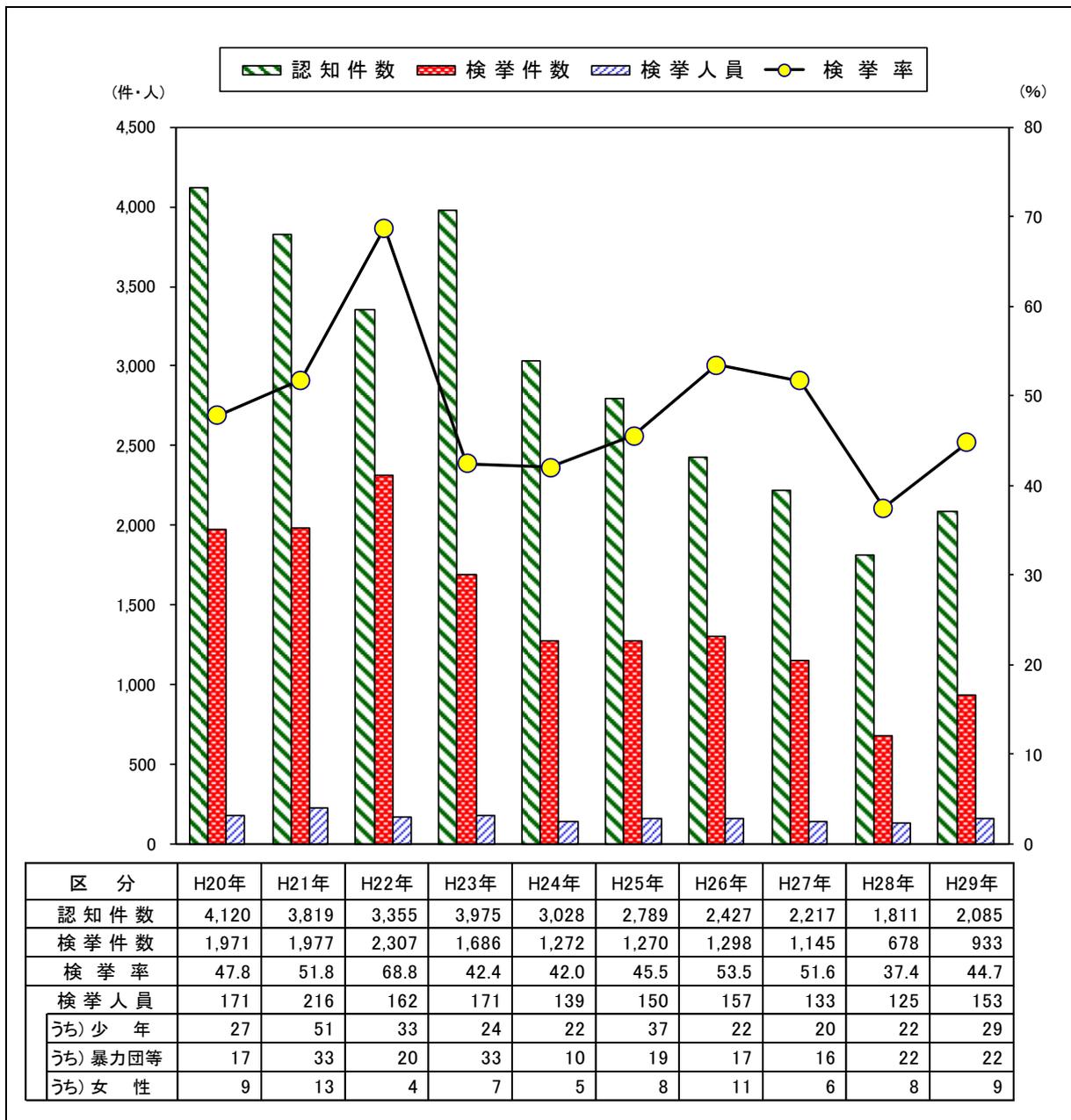
### 3 重要窃盗犯（侵入盗、自動車盗、ひったくり、すり）

#### ● 重要窃盗犯は増加

平成29年中の岐阜県下の重要窃盗犯は、認知件数が2,085件、検挙件数が933件、検挙人員が153人で、検挙率が44.7%でした。前年と比較すると、認知件数は274件（+15.1%）増加、検挙件数は255件（+37.6%）増加、検挙人員は28人（+22.4%）増加、検挙率は7.3ポイント上昇となりました。

認知件数は5年連続の減少から増加に転じました。

図-5 重要窃盗犯 認知・検挙状況 年次推移

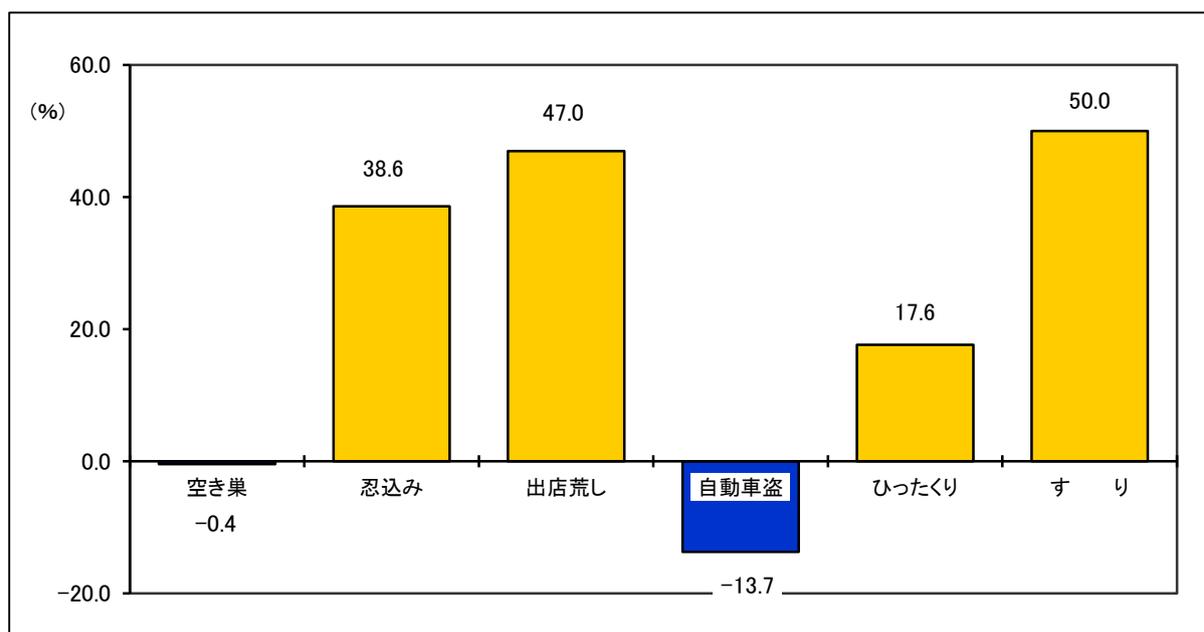


重要窃盗犯の手口別認知件数は、侵入盗が1,918件、自動車盗が132件、ひったくりが20件、すりが15件でした。前年と比較すると、自動車盗は減少しましたが、侵入盗、ひったくり、すりはそれぞれ増加しました。侵入盗の手口では、出店荒し、事務所荒し、忍込みなどが増加しました。

表－3 重要窃盗犯 手口別 認知状況

区分	手口	総数	侵入盗	うち)			自動車盗	ひったくり	すり
				空き巣	忍込み	出店荒し			
平成29年		2,085	1,918	676	176	338	132	20	15
平成28年		1,811	1,631	679	127	230	153	17	10
増減	件数	274	287	-3	49	108	-21	3	5
	%	15.1	17.6	-0.4	38.6	47.0	-13.7	17.6	50.0

図－6 重要窃盗犯 主要手口別 認知件数 前年対比



※ 重要窃盗犯とは、窃盗犯のうち侵入盗、自動車盗、ひったくり、すりの各手口をいいます。